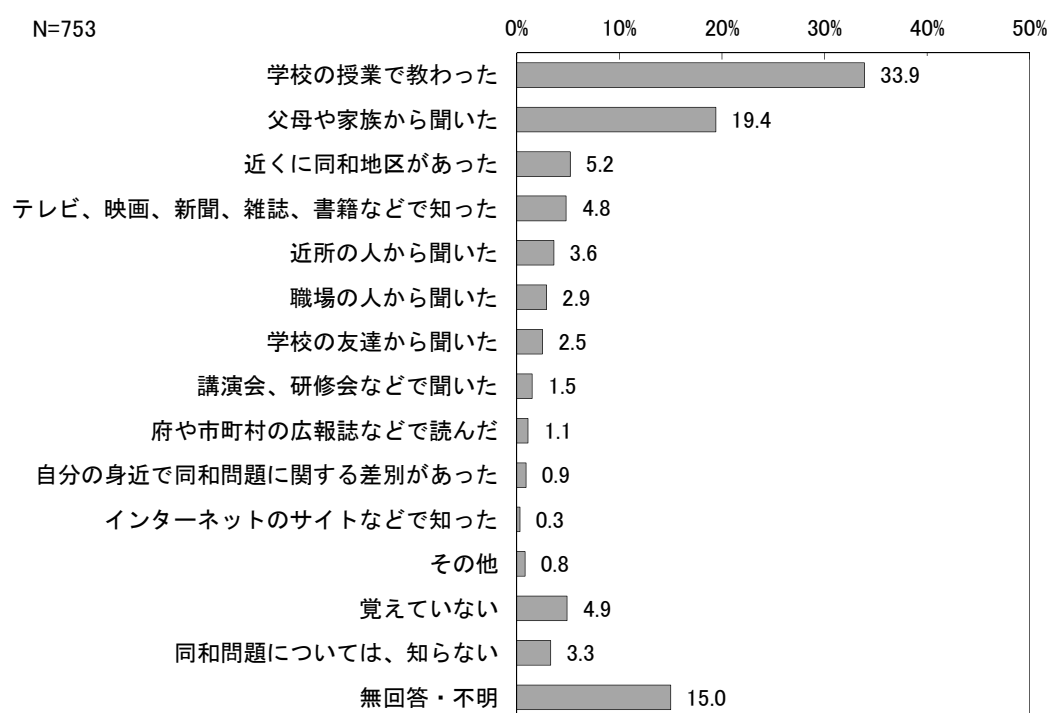


第四章 同和問題の現状と今後の展望に関する意識

1 同和問題を知ったきっかけ

(1) 質問と回答の状況

問7 あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どういうことがきっかけですか。（1つに○）



同和問題、部落問題を知ったきっかけとして最も多いのは「学校の授業で教わった」で、次いで「父母や家族から聞いた」となっています。

(2) 性別・年齢別集計

年齢別でみると、「学校の授業で教わった」は40歳代以下では6割前後、50歳代で4割程度ありますが、60歳以上では少なくなっています。逆に、「父母や家族から聞いた」は50歳代以上では2割台ですが、30歳代以下は1割未満となっています。また、全体的に回答率は低くなっていますが、「テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」、「近くに同和地区があった」も若い世代ほど回答が少ない傾向があります。回答者数が少なく明確な傾向とはいえませんが、20歳代では「同和問題については、知らない」がやや多くなっています。

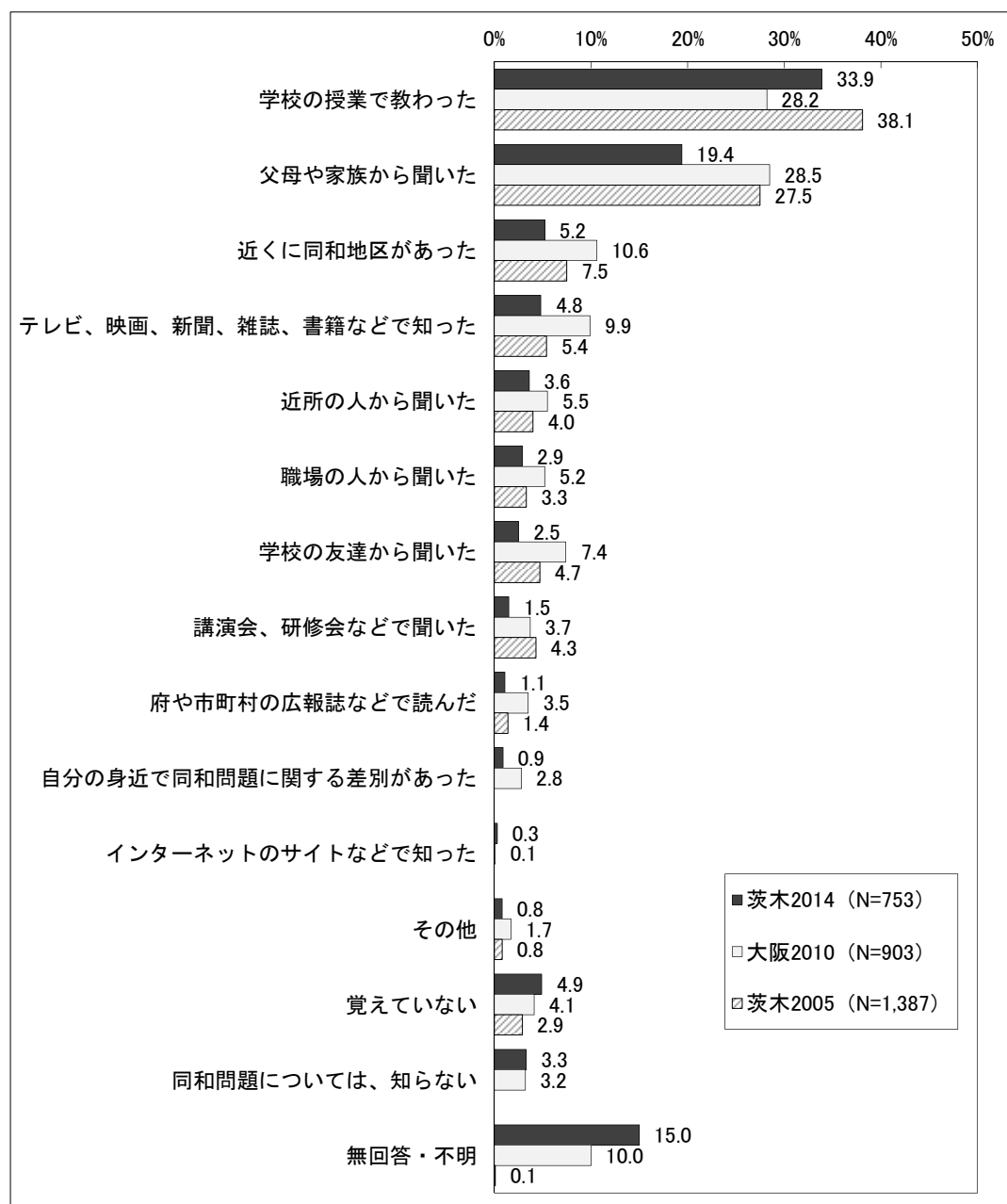
問7 あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、ということがきっかけですか。

		近所に同和地区があった	インターネットのサイトなどで知った	テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った	府や市町村の広報誌などで読んだ	講演会、研修会などで聞いた	職場の人から聞いた	学校の授業で教わった	学校の友達から聞いた	近所の人から聞いた	父母や家族から聞いた
全体 (N=753)		5.2	0.3	4.8	1.1	1.5	2.9	33.9	2.5	3.6	19.4
性別	女性 (N=418)	5.3	0.2	3.8	0.7	1.4	1.9	36.8	3.6	3.1	18.7
	男性 (N=310)	4.5	0.3	6.1	1.3	1.6	4.5	30.6	1.3	4.2	21.3
年齢	20歳代 (N=48)	-	2.1	2.1	-	-	-	56.3	2.1	2.1	6.3
	30歳代 (N=107)	2.8	-	1.9	-	0.9	0.9	64.5	0.9	0.9	9.3
	40歳代 (N=135)	2.2	-	3.7	-	-	-	59.3	1.5	-	14.1
	50歳代 (N=127)	4.7	-	4.7	0.8	-	3.1	42.5	3.9	1.6	22.8
	60歳代 (N=153)	8.5	-	5.2	3.3	3.9	7.2	10.5	2.0	3.9	27.5
	70歳以上 (N=172)	7.6	0.6	7.6	1.2	2.3	3.5	4.7	4.1	9.9	25.0
		無回答・不明					同和問題については、知らない				
							覚えていない				
							その他				
							自分の身近で同和問題に関する差別があった				
全体 (N=753)		15.0	3.3	4.9	0.8	0.9					
性別	女性 (N=418)	15.3	2.9	5.0	0.5	0.7					
	男性 (N=310)	13.5	3.2	4.8	1.3	1.3					
年齢	20歳代 (N=48)	10.4	12.5	4.2	2.1	-					
	30歳代 (N=107)	9.3	2.8	3.7	-	1.9					
	40歳代 (N=135)	10.4	1.5	5.9	0.7	0.7					
	50歳代 (N=127)	11.0	0.8	3.9	-	-					
	60歳代 (N=153)	14.4	3.3	7.2	2.0	1.3					
	70歳以上 (N=172)	23.8	4.1	4.1	0.6	1.2					

（３）大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査と比較すると、「学校の授業で教わった」が多く、それ以外の回答は全体的に少なくなっています。

前回調査と比較すると、「無回答・不明」が増加しており、その分全体的に回答率が下がっています。その中でも、「父母や家族から聞いた」は減少幅がやや大きくなっています。

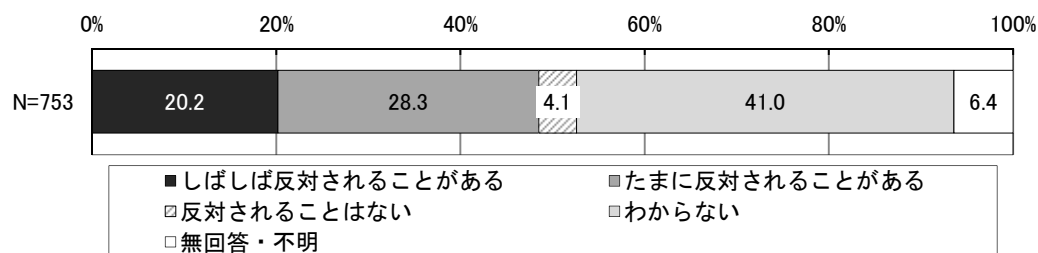


2 同和地区住民に対する結婚差別の現状認識と将来展望

(1) 質問と回答の状況

①結婚差別の現状認識

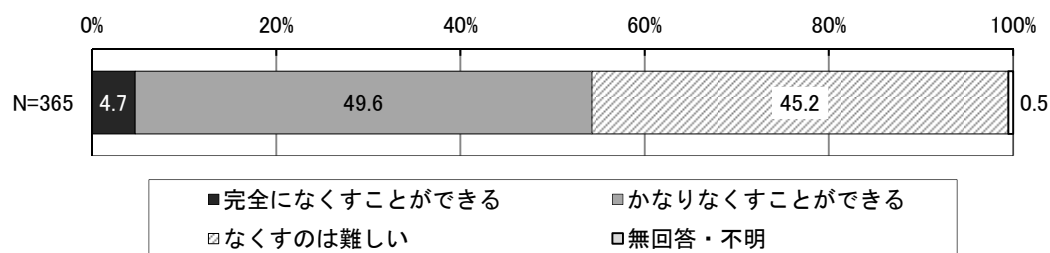
問8 現在、同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか。
(1つに○)



同和地区出身者が結婚に反対されることについては、全体の約半数が「しばしば」又は「たまに」反対されることがあると回答しており、約4割は「わからない」と回答しています。「反対されることがない」は4.1%にとどまっています。

②結婚差別の将来展望

問8-1 (反対されることがあると思う人のみ) それは、近い将来、なくすことができると思いますか。(1つに○)



反対されることについて、近い将来それをなくすことができるかどうかについては、半数以上が「完全に」又は「かなり」なくすことができると回答している一方で、4割台半ばの人が「なくすのは難しい」と回答しています。

(2) 性別・年齢別集計

性別でみると、男性より女性の方が、「なくすのは難しい」が多くなっています。

年齢別でみると、「しばしば反対されることがある」は30歳代から50歳代で多くなっており、高齢世代よりも差別があるという認識が強まっていることがうかがえます。近い将来なくせるかどうかについては、「なくすのは難しい」という回答が60歳代以上より50歳代以下で多くなっており、30歳代では特に多くなっています。

問8 現在、同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか。

		しばしば反対されることがある	たまに反対されることがある	反対されることがない	わからない	無回答・不明
全体 (N=753)		20.2	28.3	4.1	41.0	6.4
性別	女性 (N=418)	18.9	28.7	3.1	43.8	5.5
	男性 (N=310)	21.9	29.4	5.5	37.4	5.8
年齢	20歳代 (N=48)	14.6	29.2	8.3	45.8	2.1
	30歳代 (N=107)	28.0	27.1	3.7	39.3	1.9
	40歳代 (N=135)	28.9	27.4	4.4	38.5	0.7
	50歳代 (N=127)	25.2	29.1	0.8	41.7	3.1
	60歳代 (N=153)	14.4	35.9	5.9	39.2	4.6
	70歳以上 (N=172)	12.2	23.8	4.1	45.3	14.5

問 8-1（反対されることがあると思う人のみ）それは、近い将来、なくすことができますか。

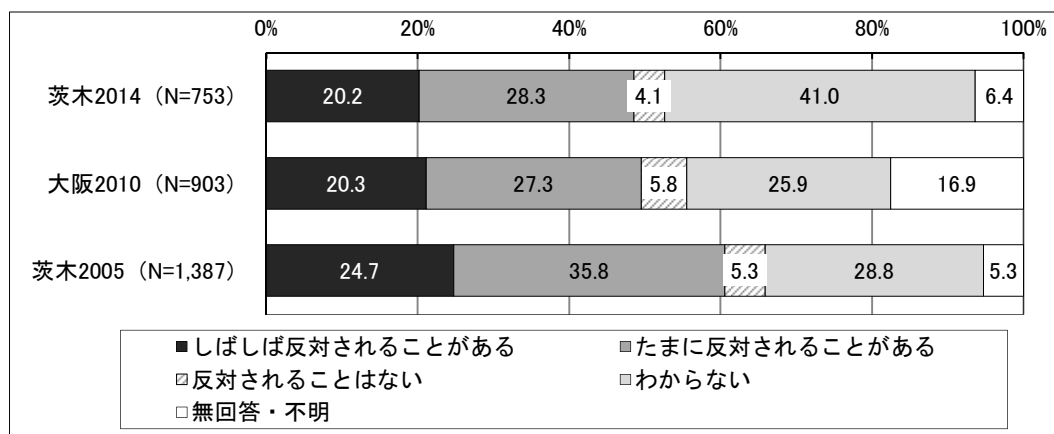
		きる 完全 になく すこと がで きる	かな りな くす こと がで きる	なく すの は難 しい	無 回 答・ 不 明
全体（N=365）		4.7	49.6	45.2	0.5
性別	女性（N=199）	3.5	47.2	48.7	0.5
	男性（N=159）	5.7	54.1	39.6	0.6
年齢	20歳代（N=21）	4.8	47.6	47.6	-
	30歳代（N=59）	3.4	25.4	71.2	-
	40歳代（N=76）	3.9	51.3	44.7	-
	50歳代（N=69）	2.9	49.3	47.8	-
	60歳代（N=77）	6.5	62.3	31.2	-
	70歳以上（N=62）	6.5	56.5	33.9	3.2

（３）大阪府調査・前回調査との比較

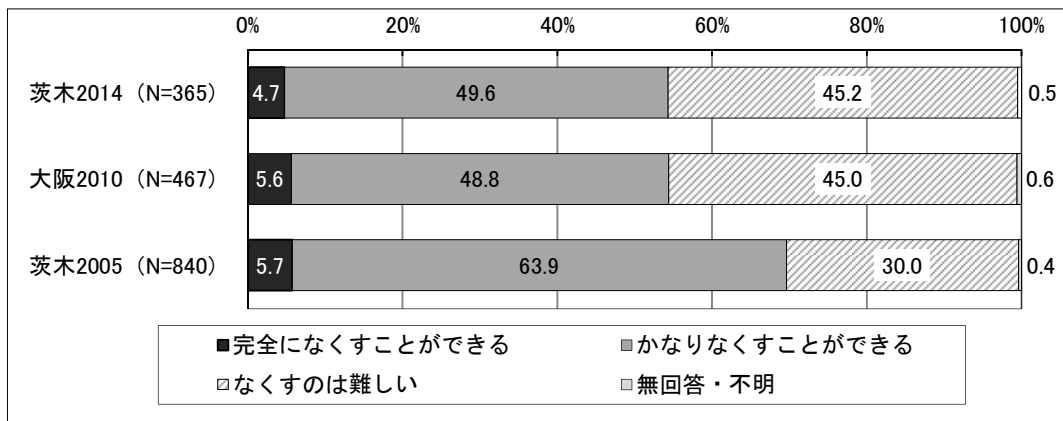
大阪府調査との比較においては、回答の傾向に大きな差は見られません。

前回調査との比較では、結婚に反対されることが「しばしば」、「たまに」あると思うという回答が、いずれも減少し、「わからない」が増加しています。反対されることを近い将来なくせるかどうかについては、「かなりなくすことができる」が減少し、「なくすのは難しい」が増加しており、改善の展望に対する厳しい見方が増えています。

■結婚に反対されることがあると思うか



■結婚に反対されることを近い将来なくせるか

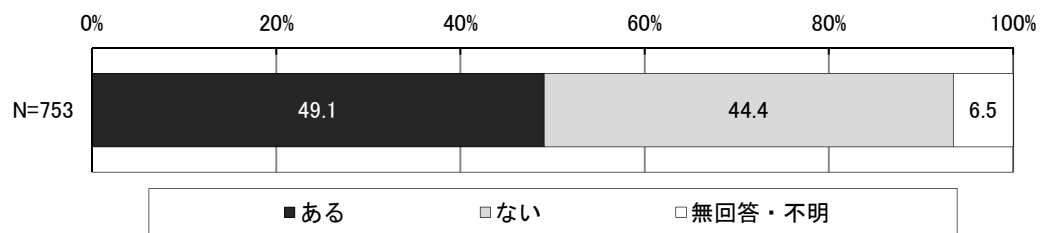


3 「同和地区の人は怖い」という話を聞くことについて

(1) 質問と回答の状況

①「同和地区の人は怖い」という話を聞いた経験

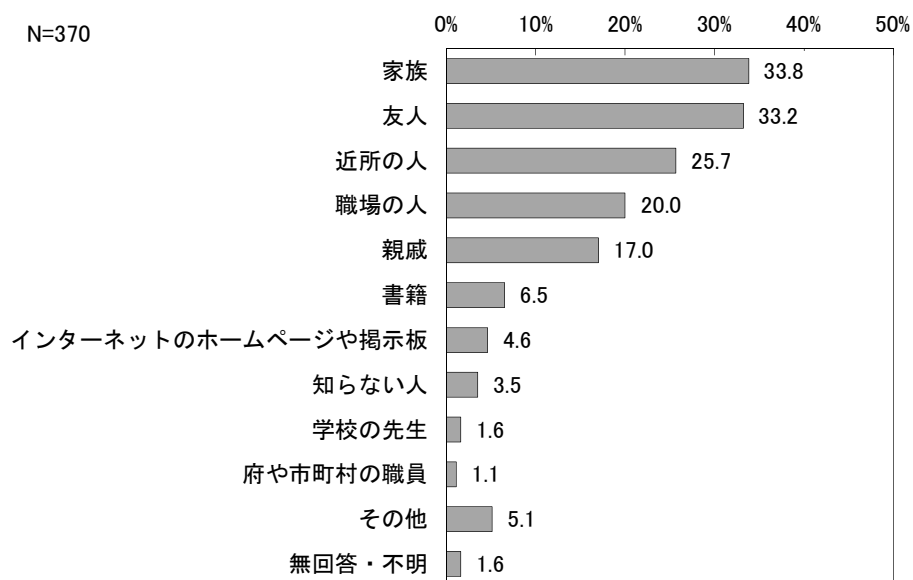
問9 あなたは「同和地区の人は怖い」というような話を聞いたことがありますか。



「ある」という回答と「ない」という回答が、ほぼ半数ずつとなっています。

②その話を誰から聞いたか

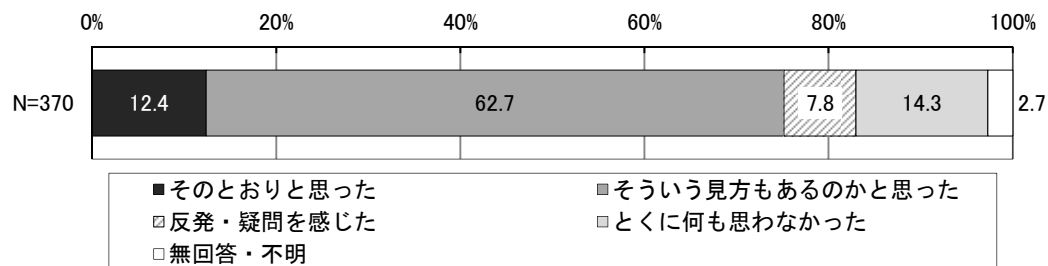
問9-1 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。(〇はいくつでも)



話を聞いた相手については、「家族」と「友人」が3割台、「近所の人」、「職場の人」が2割台と、身近な人間関係にある人から聞いていることが多くなっています。

③その話を聞いてどう感じたか

問9-2 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか。



「そういう見方もあるのかと思った」または「とくに何も思わなかった」という回答が、約7割と多数を占めています。「反発・疑問を感じた」という回答が7.8%にとどまる一方で、「思ったとおりだった」が12.4%となっています。

(2) 性別・年齢別集計

「同和地区の人はこわい」という話を聞いたことが「ある」という回答は、40歳代から60歳代で半数を超えています。若い世代ほど少なくなる傾向があります。「近所の人」から聞いたという回答は、若い世代ほど少なくなっています。また、その話を聞いたとき「思ったとおりだった」という回答は、男性と30歳代でやや多くなっています。

問9 あなたは「同和地区の人はこわい」というような話を聞いたことがありますか。

	ある	ない	無回答・不明
全体 (N=753)	49.1	44.4	6.5
性別			
女性 (N=418)	48.3	46.2	5.5
男性 (N=310)	51.0	42.6	6.5
年齢			
20歳代 (N=48)	31.3	66.7	2.1
30歳代 (N=107)	42.1	57.0	0.9
40歳代 (N=135)	54.1	43.7	2.2
50歳代 (N=127)	62.2	35.4	2.4
60歳代 (N=153)	56.9	34.6	8.5
70歳以上 (N=172)	40.7	47.1	12.2

問9-2 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか。

	そのとおりと思った	かと思っ た	そう いう 見 方 も あ る の か	反 発 ・ 疑 問 を 感 じ た	と く に 何 も 思 わ な か つ た	無回答・不明
全体 (N=370)	12.4	62.7	7.8	14.3	2.7	
性別						
女性 (N=202)	7.4	67.8	6.4	13.9	4.5	
男性 (N=158)	16.5	58.9	9.5	14.6	0.6	
年齢						
20歳代 (N=15)	13.3	40.0	6.7	40.0	-	
30歳代 (N=45)	22.2	51.1	11.1	11.1	4.4	
40歳代 (N=73)	5.5	67.1	8.2	16.4	2.7	
50歳代 (N=79)	11.4	65.8	3.8	17.7	1.3	
60歳代 (N=87)	13.8	66.7	11.5	5.7	2.3	
70歳以上 (N=70)	12.9	62.9	5.7	14.3	4.3	

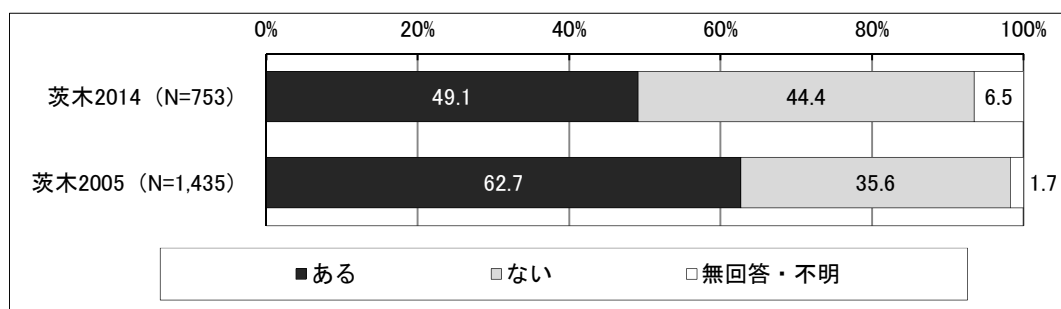
問9-1 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。

	家族	親 戚	近 所 の 人	友 人	職 場 の 人	学 校 の 先 生	府 や 市 町 村 の 職 員	知 ら な い 人	書 籍	イ ン タ ー ネ ッ ト の ホ ー ム ペ ー ジ や 掲 示 板	そ の 他	無回答・不明
全体 (N=370)	33.8	17.0	25.7	33.2	20.0	1.6	1.1	3.5	6.5	4.6	5.1	1.6
性別												
女性 (N=202)	36.6	19.3	28.2	29.7	15.3	1.5	1.0	4.5	4.5	4.0	4.5	1.0
男性 (N=158)	31.0	14.6	22.8	37.3	27.2	1.3	1.3	1.9	9.5	5.7	5.7	1.9
年齢												
20歳代 (N=15)	33.3	20.0	6.7	33.3	20.0	13.3	6.7	-	-	6.7	13.3	-
30歳代 (N=45)	22.2	13.3	15.6	31.1	8.9	2.2	-	6.7	4.4	8.9	11.1	4.4
40歳代 (N=73)	49.3	21.9	13.7	28.8	17.8	2.7	-	1.4	5.5	5.5	2.7	-
50歳代 (N=79)	35.4	15.2	27.8	39.2	19.0	1.3	1.3	2.5	6.3	6.3	5.1	-
60歳代 (N=87)	25.3	16.1	24.1	32.2	27.6	-	1.1	2.3	8.0	2.3	5.7	2.3
70歳以上 (N=70)	34.3	17.1	48.6	32.9	21.4	-	1.4	7.1	8.6	1.4	1.4	2.9

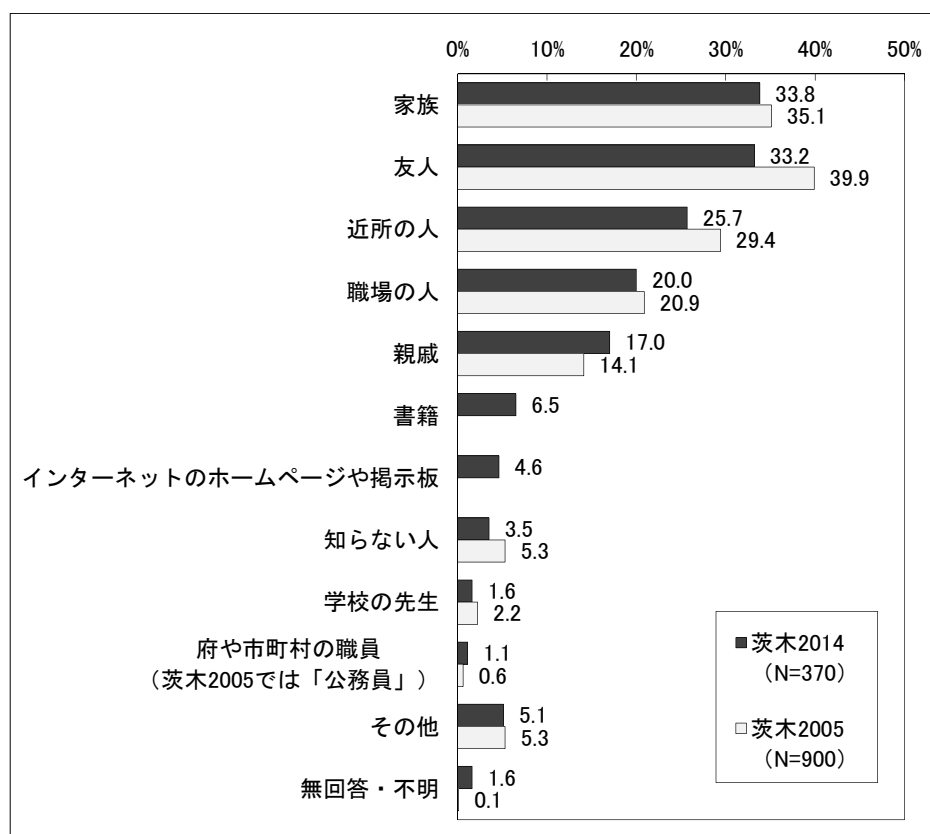
(3) 前回調査との比較

前回調査と比較すると、「同和地区の人は怖い」という話を聞いたことがあるという回答は減少しています。誰から聞いたかについては、それほど大きな変化は見られません。その話を聞いてどう感じたかについては、「反発・疑問を感じた」という回答が減少し、「とくに何も思わなかった」が増加しています。

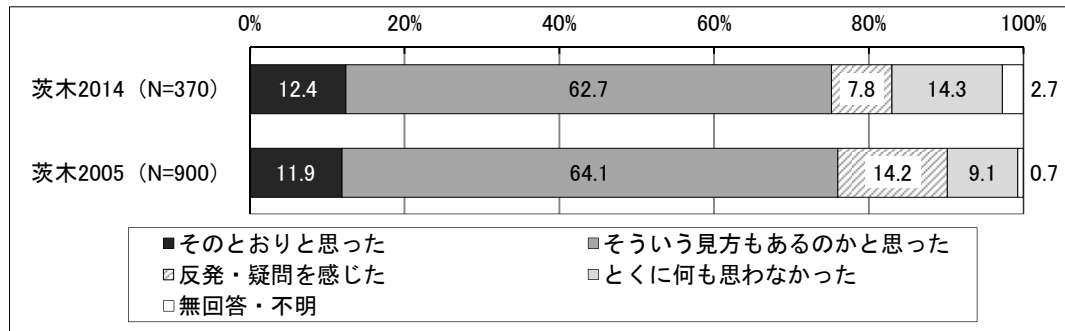
■「同和地区の人は怖い」という話を聞いた経験



■その話を誰から聞いたか



■その話を聞いてどう感じたか

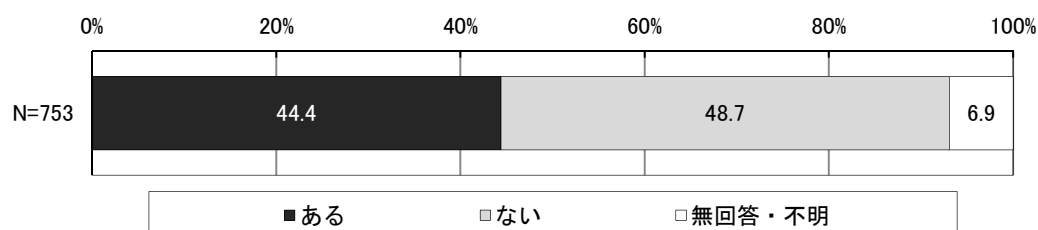


4 「同和対策はやりすぎ・不公平」という話を聞くことについて

(1) 質問と回答の状況

①「同和対策がやりすぎ・不公平」という話を聞いた経験

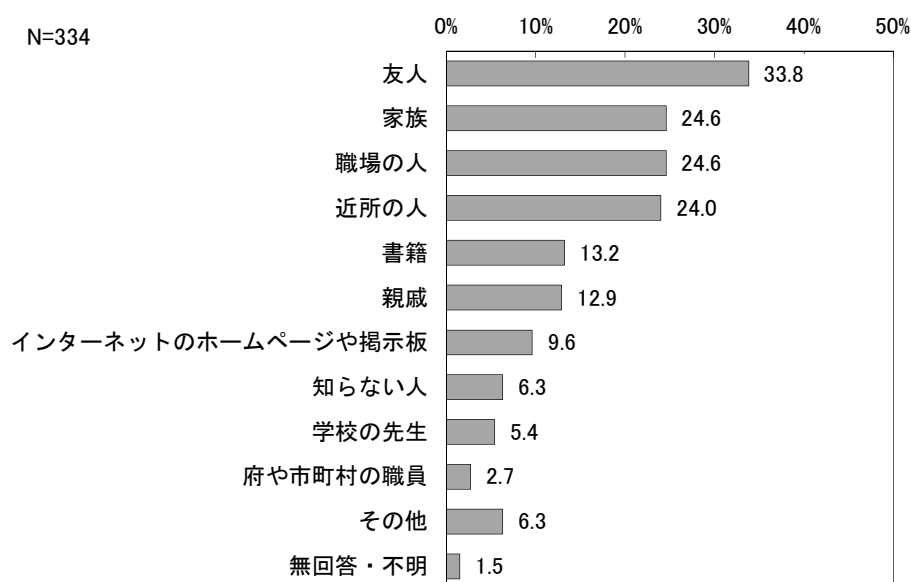
問10 あなたは、同和対策がやりすぎであったとか、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。



「ある」という回答と「ない」という回答が、ほぼ同数となっています。

②その話を誰から聞いたか

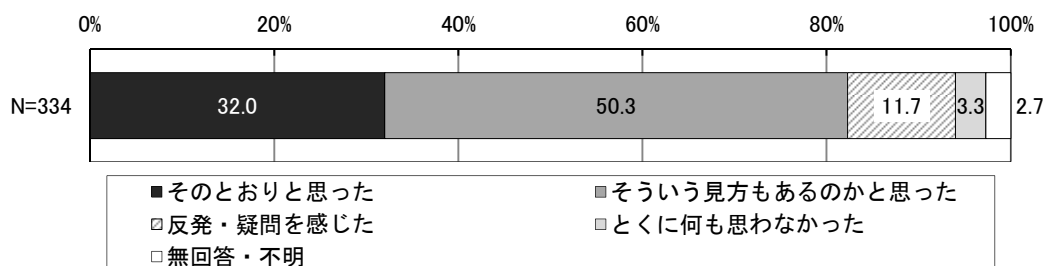
問10-1 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。(〇はいくつでも)



「友人」が最も多く、次いで「家族」、「職場の人」、「近所の人」が2割台となっています。「同和地区の人は怖い」という話よりも、「書籍」や「インターネットのホームページや掲示板」という回答が多くなっています。

③その話を聞いてどう感じたか

問10-2 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか。（1つに○）



「思ったとおりだった」と受け止めた人は、「同和地区の人はこわい」という話の倍以上となっており、「やりすぎ・不公平」だと思った人が多かったことがうかがえます。「反発・疑問を感じた」という回答もやや多くなっています。

（２）性別・年齢別集計

「ある」という回答は50歳代、60歳代で半数を超えていますが、若い世代ほど少なくなっており、「同和地区の人はこわい」という話と同様の傾向があります。また、女性より男性がやや多くなっています。話を聞いた相手として、「近所の人」は50歳代以上、「職場の人」は60歳代以上で多く、30歳代では「インターネットのホームページや掲示板」が「友人」、「家族」に次いで多くなっています。話を聞いたとき「反発・疑問を感じた」は、対象者が少ない20歳代を除くと、60歳代以上でやや多くなっています。

問10 あなたは、同和対策がやりすぎであったとか、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。

	ある	ない	無回答・不明
全体 (N=753)	44.4	48.7	6.9
性別			
女性 (N=418)	42.6	51.9	5.5
男性 (N=310)	48.4	45.2	6.5
年齢			
20歳代 (N=48)	10.4	85.4	4.2
30歳代 (N=107)	29.0	69.2	1.9
40歳代 (N=135)	47.4	50.4	2.2
50歳代 (N=127)	56.7	41.7	1.6
60歳代 (N=153)	53.6	40.5	5.9
70歳以上 (N=172)	45.9	40.1	14.0

問10-2 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか

	そのとおりと思った	かと思っ た	そうい う見 方もある の	反発・疑問を感じた	た とく に何 も思 わな かつ	無回答・不明
全体 (N=334)	32.0	50.3	11.7	3.3	2.7	
性別						
女性 (N=178)	29.2	52.8	11.2	4.5	2.2	
男性 (N=150)	32.7	49.3	12.7	2.0	3.3	
年齢						
20歳代 (N=5)	60.0	-	20.0	20.0	-	
30歳代 (N=31)	38.7	51.6	3.2	6.5	-	
40歳代 (N=64)	26.6	59.4	7.8	6.3	-	
50歳代 (N=72)	37.5	52.8	9.7	-	-	
60歳代 (N=82)	26.8	48.8	17.1	3.7	3.7	
70歳以上 (N=79)	31.6	45.6	13.9	1.3	7.6	

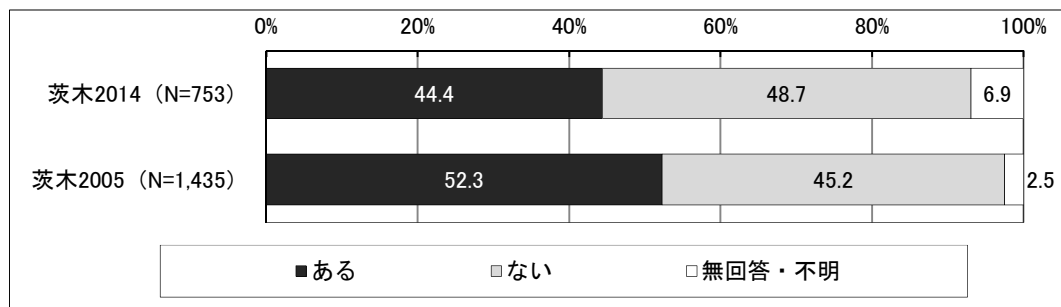
問10-1 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。

	家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	府や市町村の職員	知らない人	書籍	インターネットのホームページや掲示板	その他	無回答・不明
全体 (N=334)	24.6	12.9	24.0	33.8	24.6	5.4	2.7	6.3	13.2	9.6	6.3	1.5
性別												
女性 (N=178)	27.5	15.2	24.2	32.0	15.7	8.4	1.7	4.5	9.6	7.9	5.1	1.7
男性 (N=150)	22.0	10.0	24.0	36.7	36.0	2.0	3.3	7.3	18.0	12.0	7.3	0.7
年齢												
20歳代 (N=5)	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-
30歳代 (N=31)	29.0	6.5	12.9	32.3	16.1	12.9	3.2	3.2	6.5	25.8	-	3.2
40歳代 (N=64)	29.7	15.6	12.5	20.3	17.2	7.8	1.6	4.7	9.4	12.5	10.9	-
50歳代 (N=72)	29.2	11.1	23.6	41.7	16.7	8.3	2.8	1.4	15.3	13.9	6.9	1.4
60歳代 (N=82)	15.9	14.6	26.8	34.1	30.5	3.7	1.2	12.2	15.9	6.1	7.3	2.4
70歳以上 (N=79)	22.8	13.9	36.7	39.2	35.4	-	3.8	6.3	15.2	1.3	2.5	1.3

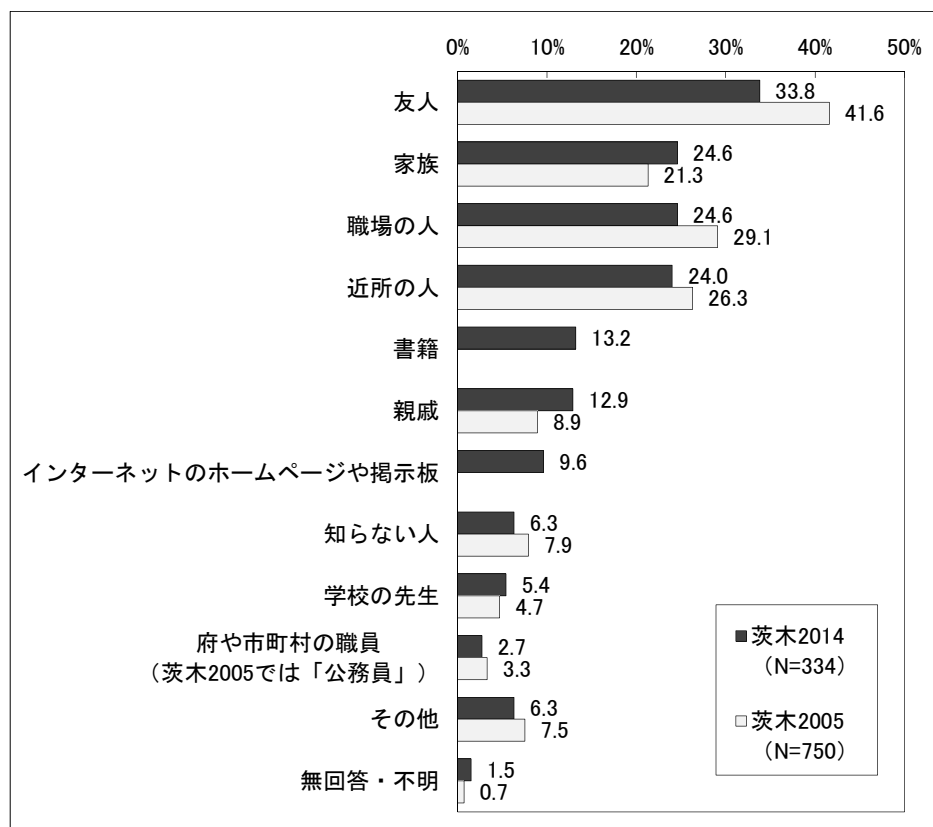
(3) 前回調査との比較

「やりすぎ・不公平」という話を聞いたことが「ある」という回答は、前回調査と比較するとやや少なくなっています。聞いた相手としては、「友人」、「職場の人」がやや減っています。話を聞いてどう感じたかについては、大きな違いは見られません。

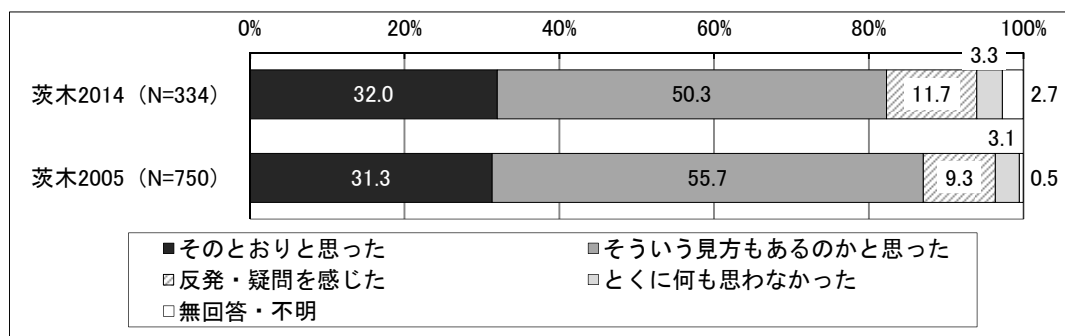
■「同和対策がやりすぎ・不公平」という話を聞いた経験



■その話を誰から聞いたか



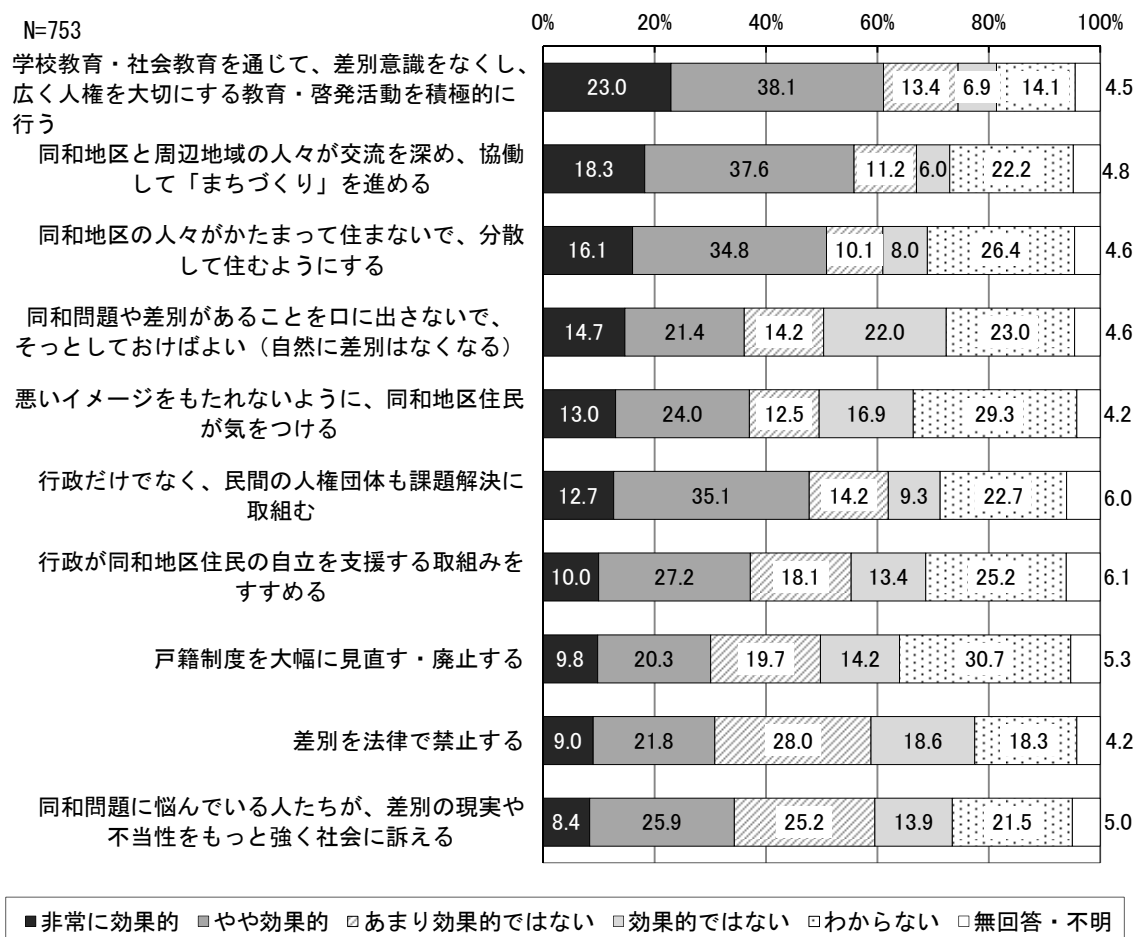
■ その話を聞いてどう感じたか



5 同和問題解決のために効果的と思う施策や対応

(1) 質問と回答の状況

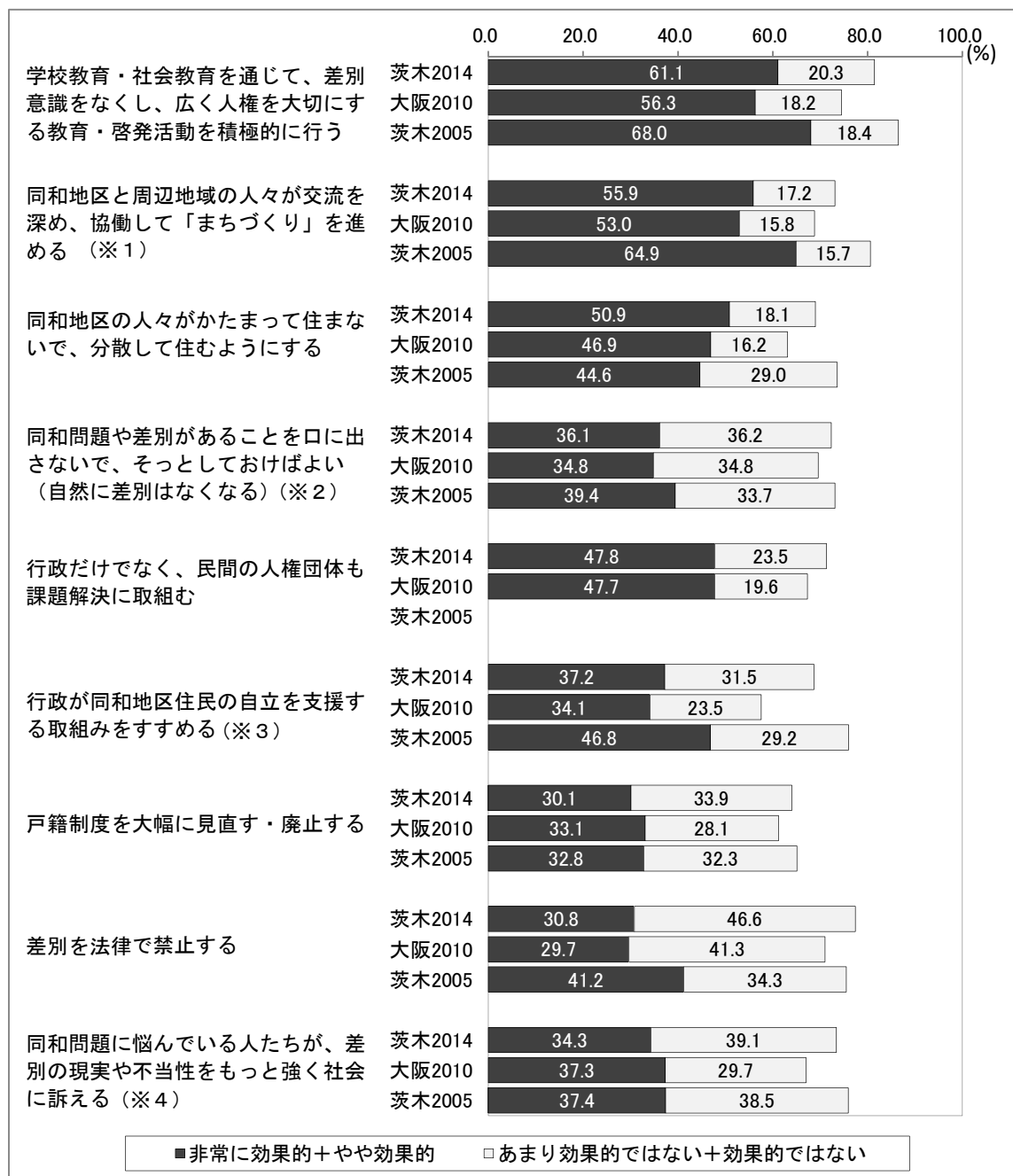
問11 同和問題を解決するために、次にあげる施策や対応は、どの程度効果的だと思いますか。(1)～(10)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)



効果的だと思う施策や対応については、「差別意識をなくし、広く人権を大切にする教育・啓発活動」が最も多くなっています。「同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える」、「差別を法律で禁止する」、「戸籍制度を見直す・廃止する」については、効果的ではないという回答が効果的という回答を上回っており、「口に出さないでそっとしておけばよい」は効果的という回答と効果的ではないという回答がほぼ等しくなっています。また、「教育・啓発活動」と「法律で禁止する」以外の間では「わからない」が2～3割を占めています。

(2) 大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査と比較すると、「行政が同和地区住民の自立を支援する取組みをすすめる」と「差別の現実や不当性を訴える」で「効果的ではない」という回答が多くなっています。前回調査との比較では、「教育・啓発活動」、「協働してまちづくり」、「自立を支援する取組み」、「法律で禁止」で「効果的」が減少し、「分散して住むようにする」の「効果的ではない」が減少しています。



- ※1：茨木2005では「同和地区と周辺との交流を深め「まちづくり」を進める」
 ※2：茨木2005では「口に出さないでそっとしておけば自然に差別はなくなる」
 ※3：大阪2010では「同和地区住民の自立を支援する取組みを一般の対策ですすめる」、
 茨木2005では「行政の一般施策で同和地区住民の自立を支援する」
 ※4：茨木2005では「同和地区住民が差別の現実や不当性を強く社会に訴える」